

2024年3月期第2四半期 決算短信補足説明資料



証券コード4389

2023年11月6日

(2023年4月～2023年9月)

2024年3月期第2四半期決算概要

売上高はクラウドサービス売上高が順調に拡大し、前期比+9.5%
営業利益は人件費等の増加により販管費が増加し、前期比△8.0%

売上高

1,240百万円
(前年同期比+9.5%)

経常
利益

200百万円
(前年同期比△7.3%)

営業
利益

198百万円
(前年同期比△8.0%)

四半期
純利益

135百万円
(前年同期比△33.8%)

※ 百万円未満切捨て

プロパティデータバンク



■「@property」の安定拡大

- ソリューションサービスでのBPR案件による案件大型化を継続
- クラウドサービスはERP提案による案件大型化を目指す
- 一般事業会社への提案を拡大

新規サービス

■新規サービスの開発に着手中

- 新サービスを複数開発中
 - Speed ANSWER for Web（仮称）の開発
 - DXプラットフォームの開発
- @knowledgeを今夏に全面リニューアル
- BIMは事業化を推進



- ・ 大型案件のスタート
 - ⇒ 大手総合不動産A社 2年プロジェクトが下期スタート
 - ⇒ 大手エネルギーB社 2年プロジェクトがスタート
 - ⇒ **受注確度が高い商談案件を今後3年間で約30億円ストック**
- ・ アップセルによる大型化
 - ⇒ 電帳法対応駆け込み受注の増加

新規サービス

- ・ Speed ANSWER for Web（仮称）
 - ⇒ @commerceへ（名称変更）
 - ⇒ 今冬リリース 12月13日～15日「JAPAN BUILD」出展
- ・ オンラインストレージサービス「@knowledge」
 - ⇒ β 版にて運用中
- ・ リーボ株式会社との業務提携を発表（9月）

プロパティデータテクノス

文書管理ソリューション

- 不動産関連文書のデジタル化サービスを拡大
- 文書管理ソリューションの提案拡大
- BPO事業に進出

※BPO（Business Process Outsourcing）業務プロセスの一部を、企画・設計から実施までを一括して専門業者に外部委託すること

Property Data Technos

- 文書管理BPO事業本格稼働 & 受注
 - ・業務フローの設計から管理業務まで一貫で請け負う
 - ・株式会社KJRマネジメント様で導入
- 7月～9月の問い合わせ数増加
 - ・本格稼働後の問い合わせ倍増
 - ・下期以降受注に向けて商談中

プロパティデータサイエンス

Speed ANSWER

- 「Speed ANSWER（スピードアンサー）」を店舗の出店段階から、出店後の運営管理まで担う総合店舗運営管理サービスに転換し、拡販に注力する

Property Data Science

- 100%子会社化
 - ・迅速な経営判断を行い売上拡大を模索
 - ・現在、体制見直しを検討中
- Speed ANSWER
 - ・売上予測レポートを評価いただき、商談継続中
 - ・下期受注予定案件増加

クラウドサービスは順調に拡大中。

- ・売上高拡大の最大の要因は、クラウドサービスの拡大。前期連結対象外であったプロパティデータテクノスの売上も寄与。
- ・一方、ソリューションサービスは、期ずれの影響で想定よりも売上計上できていない。

(単位：百万円)		2023年3月期 2Q 実績（連結）	2024年3月期 2Q 実績（連結）	前期比
売上高（連結）		1,132	1,240	+9.5%
プロパティデータバンク	クラウドサービス	731	810	+10.8%
	ソリューションサービス	345	310	△10.3%
プロパティデータテクノス		51	111	+115.8%
プロパティデータサイエンス		6	9	+52.9%
営業利益		215	198	△8.0%
経常利益		215	200	△7.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益		204	135	△33.8%

※ 百万円未満切捨て ※ 内部取引消去前

進捗率はやや低調。

- ・クラウドサービス売上高の進捗率は前年並み。一方、ソリューションサービス売上高の進捗率は想定よりも遅れている。
- ・子会社2社の進捗率も想定よりも遅れている。

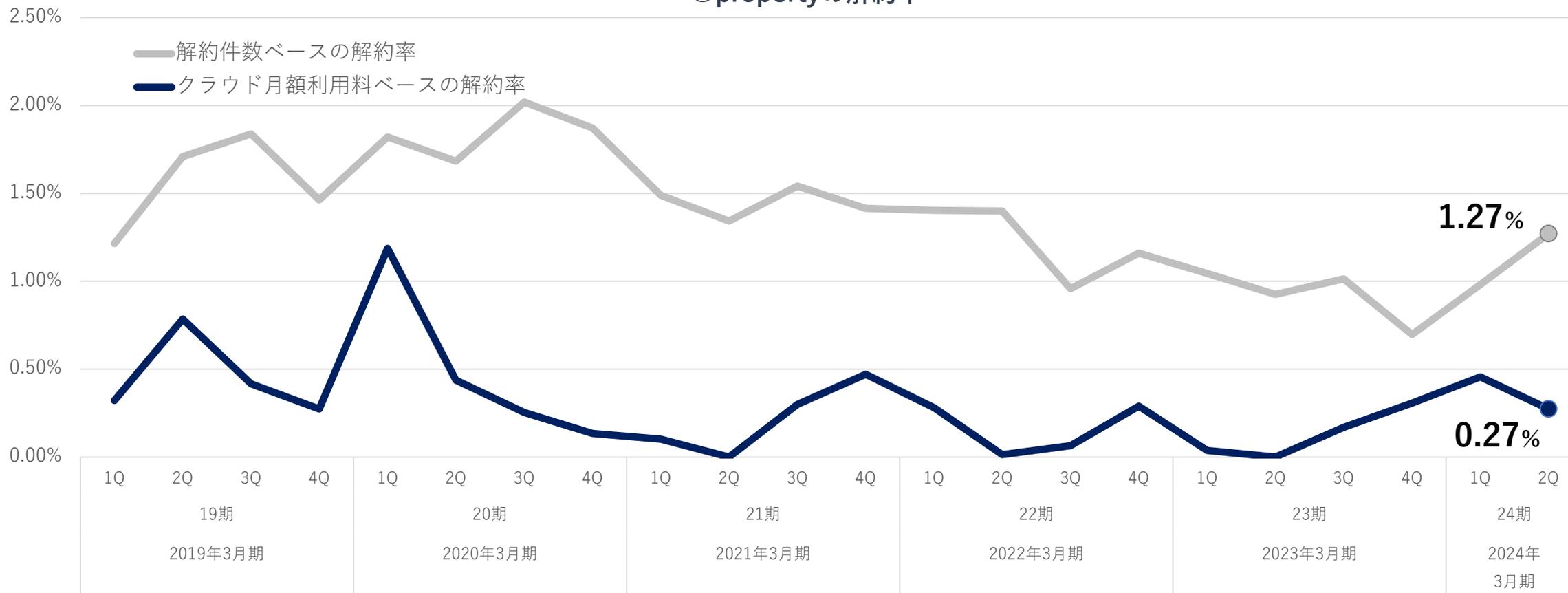
(単位：百万円)		2024年3月期 2Q 実績	2024年3月期 通期計画 計画	進捗率
売上高（連結）		1,240	3,420	36.3%
プロパティデータバンク	クラウドサービス	810	1,680	48.2%
	ソリューションサービス	310	1,240	25.0%
プロパティデータテクノス		111	300	37.2%
プロパティデータサイエンス		9	200	4.8%
営業利益		198	822	24.1%
経常利益		200	822	24.3%
親会社株主に帰属する当期純利益		135	559	24.2%

※百万円未満切捨て ※内部取引消去前

【KPI】 @property 解約率

件数ベースの解約率は1.27%、月額利用料ベースの解約率は0.27%。
月額利用料が少なく、@propertyの利用が進んでいない顧客が解約の傾向。

@propertyの解約率



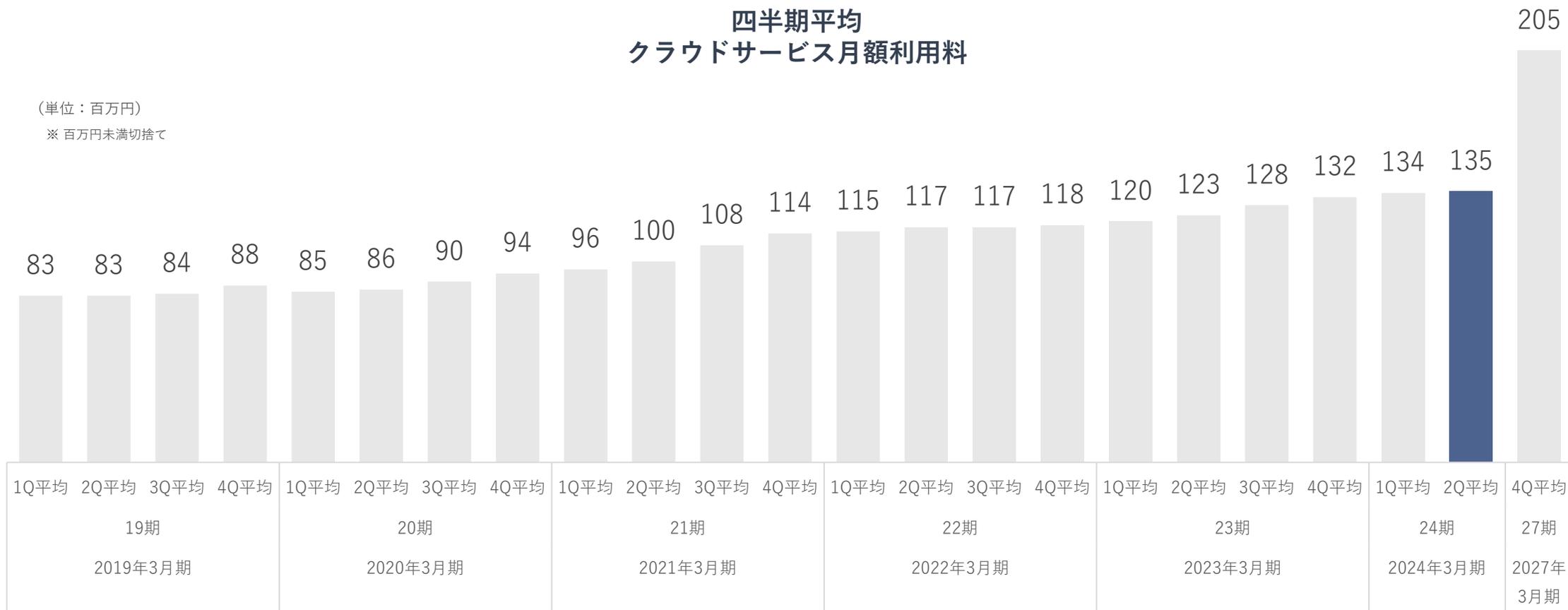
クラウドサービス月額利用料（Q平均）

クラウドサービス月額利用料は、大口案件の本稼働開始がなかったため、前四半期比で緩やかな増加。

四半期平均
クラウドサービス月額利用料

(単位：百万円)

※ 百万円未満切捨て



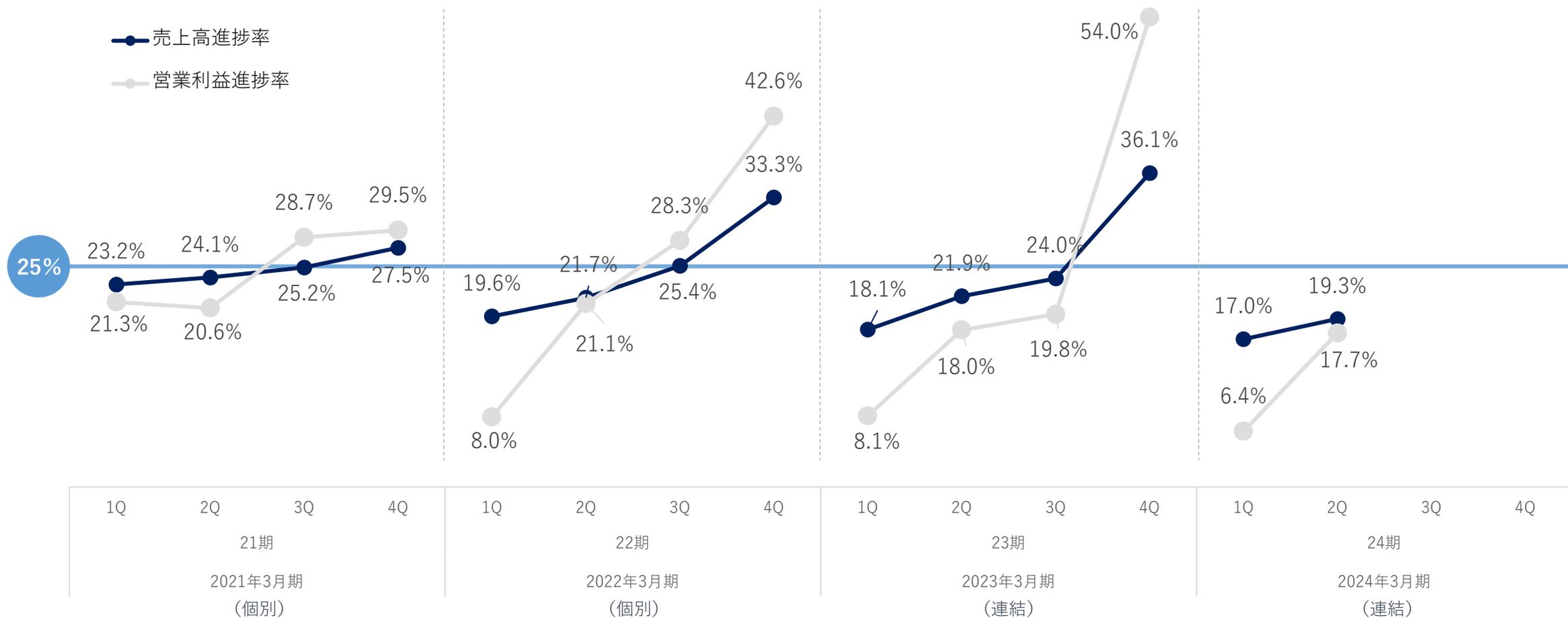
1社当たりのクラウドサービス月額利用料単価

1社当たりの平均月額利用料単価は、鉄道会社グループを中心とする一般事業法人の大口案件獲得により前年同期比+30千円(7.6%増)



下期偏重の傾向は変わらず第2四半期までの進捗率は低い。

- ・ソリューションサービス及び子会社2社が想定よりも遅れている。
- ・人件費等の増加による販管費増加は想定内。





IR に関するお問合せ
IR担当: 03-5777-3468
メール: PDB_IRinquiries@propertydbk.com

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等様々な要因により、実際の業績は言及または記述されてる将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。